

平成 23 年 11 月 14 日

関係各位 様

熊本県高体連ソフトテニス専門部

委員長 谷脇 晋

平成 23 年度県下大会ソフトテニス競技について

晩秋の候、関係各位の皆様におかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、天候に恵まれず、日程を延期して昨日まで行われた県下大会ソフトテニス競技は選手・監督及び保護者の皆様のご協力のお陰をもちまして無事に終了することができました。

今回の大会運営に関しまして数多くの方々から貴重なご意見をいただきました。大会本部としてこのご意見を真摯に受け止めて、今後の大会運営に反映させていきたいと思っております。

つきましては、いただいたご意見とそれに対する解答を下記のとおり掲載いたしますので、ご一読ください。

①大会 2 日目（11 月 6 日）の態度決定までの時間について

コートが人工芝コートであったため、雨が止み次第競技開始する予定でした。会場には雨を避ける場所もほとんどなく、選手の健康管理に関してご迷惑をおかけしたとは思いますが、少しでも試合を進めようとの思いから 12 時まで結論を引き延ばすことになりました。

もし、仮にクレーコートであれば午前中の早い時間帯で延期の決定をすることは可能だったと思います。

②延期の期日が翌週であったことについて

この大会はご存じのとおり全国選抜の県予選を兼ねており、九州大会の締切りが 11 月 16 日（水）であったため、翌週にしか延期できませんでした。

③会場がエコパーク水俣となったことについて

県民総合運動公園のコートは年度当初に作成した年間計画に従って利用しています。この時期は大会が集中する時期でもあり、雨天の場合の仮予約は不可能です。県内の施設を検討した結果、エコパーク水俣のみが確保できましたので、そちらでの実施となりました。

④組み合わせについて

大会要項に示してある通り、高校総体団体戦の結果をもとに組み合わせを行っています。高体連主催大会（高校総体、県下大会）においては専門委員会を開催し、厳正なる抽選を行っています。